

「地域とともにある学校づくり」を目指して

～子どもたちの成長を多面的に支える～

コミュニティ・スクールは、学校・保護者・地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組み、「地域とともにある学校」へと転換を図るための仕組みです。コミュニティ・スクールを学校・保護者・地域住民等をつなぐ有効なツールとして活用し、積極的に取組を進めましょう。

【第1回 学校運営協議会では】

- ・委員の紹介
- ・学校運営協議会の目的等の説明
- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認 など



【第2回 学校運営協議会では】

- ・第2回目からの協議会では何をすればいいのだろうか？
- ・学校が取組内容を決めなければならないのだろうか？
- ・何回くらい協議会を開催しなければならないのだろうか？
- ・新しい取組を行わなければならないのだろうか？



【学校運営協議会（2回目から）での取組内容（案）】

<保護者>

- ・新しい安全マップを作成してはどうか。
- ・校区外清掃に保護者も参加したいなあ。
- ・地域の方にも協力してもらって、登下校時の見守り活動を強化してはどうか。
- ・学校の雪かきに保護者や地域が積極的に関わる仕組みを、考えても良いのではないか。



<地域>

- ・子どもたちには地域の行事に積極的に参加して欲しい。
- ・運動会（体育祭）や学芸会（文化祭）等で、保護者と一緒に地域も何か手伝えないだろうか。
- ・避難訓練や防災教室などを地域と合同でできないだろうか。
- ・先生と一緒に研修会を開催できないだろうか。
- ・市の出前講座などを活用できないだろうか。



<学校>

- ・学校だけでなく、地域でもしっかり挨拶できるようになってほしい。
- ・外国語教育の工夫を図りたい。
- ・避難訓練や防災訓練の工夫を図りたい。
- ・LINEやメールでのトラブルが増えてきているので、保護者や地域と連携しながら利用のマニュアル等を作成したい。



それぞれが自分ごとになるように進めていきましょう！



～ 学校運営協議会 ～

それぞれの考えや思いを出し合える場



- ・子どもの姿を共有する時間でもいいのでは・・・
- ・子どもたちのためにできることの交流の時間であってもいいのでは（それぞれの立場で）・・・
- ・1回の協議会で完結しなくてもいいのでは・・・
- ・今までの取組にそれぞれの立場で参加できる工夫から始めてもいいのでは・・・
- ・協議だけでなく、ミニ研修会や市の出前講座などを効果的に取り入れてもいいのでは・・・

学校のリードから徐々に学校運営協議会が主体となるような工夫を！

取組の一例

～地域の「安全マップ」を作成～

子どもたちの安全な環境づくりを目指し、保護者・地域・学校で知恵を出し合って、オリジナルの一枚を作成！

（まずは、既存の安全マップを、更新してみるのもいいかも・・・）

